

きこえない・きこえにくい人に情報が届く避難所を!!
全国の福祉避難所・高齢者施設等に「目で聴くテレビ」専用受信機「アイ・ドラゴン4」を設置してください===見える情報が命を守ります===

「アイ・ドラゴン4」は、きこえない・きこえにくい方の日常生活用具としてご利用いただけることはもちろん、緊急災害時にはすべての人に必要な情報をお届けする「情報アクセシビリティ対応機器」です。全国の福祉避難所は26,116箇所(令和6年内閣府調査)ありますが、いま、設置されている「アイ・ドラゴン4」は280台です。

「障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法」「手話に関する施策の推進に関する法律」「合理的配慮の義務化」

これらの法律を活かして引き続き、ご当地の市町村に、聴覚障害者災害救援中央本部・貴協会・障害者放送通信機構連名の要望書を提出してください。

「アイ・ドラゴン4」の機能
■災害時に手話言語で緊急災害放送を見る
■「目で聴くテレビ」が収集した災害時情報をオリジナル番組で見る(全国の聴覚障害者情報提供施設と協力)
■「リアルタイム手話・字幕放送」を見る(情報通信研究機構(NICT)助成事業)
■2,500本超の手話番組アーカイブを24時間いつでも見られる
認定特定非営利活動法人障害者放送通信機構は、文化庁からリアルタイム字幕配信事業者の指定を受けています
聴覚障害者用情報受信装置「アイ・ドラゴン4」(日常生活用具)

障害者放送通信機構は、全日本ろうあ連盟と全国の加盟団体と協力して「アイ・ドラゴン4」の普及に努め、誰一人取り残されない避難所作りをうたっています。災害はいつ起こるかわかりません。避難所に「アイ・ドラゴン4」を設置して、日常普段から防災訓練や防災学習に活用して備えることが大事です。

「ろうあ石川」NO,542より
石川県聴覚障害者協会は白山市と災害時における「きこえない・きこえにくい人のための福祉避難所の運営に関する協定」を締結しました。

全日本ろうあ連盟加盟団体の「アイ・ドラゴン」普及担当者会議後の設置要望運動により「アイ・ドラゴン4」を活用していただける施設団体が41か所増えました。引き続きご当地の市町村に聴覚障害者災害救援中央本部・貴協会・障害者放送通信機構連名の要望書を提出してください。

石川県初! きこえない・きこえにくい人のための福祉避難所 県協会と白山市が協定
白山市のまちづくりを、一緒に
白山市と石川県聴覚障害者協会 協定
左から中川健康福祉部長、田村市長、遠藤理事長、藤平事務執行理事、岩田理事、あさがおハウス 中川所長、白山市聴覚障害者協会 橋本氏(R8.3.27市特別応接室にて)
石川県聴覚障害者協会(以下、県協会)は白山市と災害時における「きこえない・きこえにくい人のための福祉避難所の運営に関する協定」を3月27日に締結しました。白山市は一昨年発生した令和6年能登半島地震において、二次避難所で11人の被災者を受け入れ、県協会とともに支援してきた経緯があります。
協定では以下の内容を盛り込んでいます。
①災害発生時は「地域活動支援センターあさがおハウス」を構える市身体障害者・老人福祉センターこがね荘に福祉避難所を開設する。
②市は県協会に運営を委託し、ろうあ相談員や手話通訳者の派遣調整などを行うほか、手話を受けた相談支援やアイ・ドラゴン4の配属、タブレット等を活用した情報提供を行う。
市内の独居ろう者等を優先に約20人の受入れを見込んでいますが、仮に20人を超えても受け入れるように調整することです。
今後も県内各地で同様の福祉避難所が開設され、県内の安全な暮らしにつながれるよう取り組んで参ります。

